

会 議 録

会議録	平成29年度 第2回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバス運行10周年記念事業に関する取組について</p> <p>①無料乗車期間の設定</p> <p>②最終便のダイヤ設定</p> <p>(2) 旭地域バスの継続運行について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) K i T A R Aオープンイベント等に伴う迂回運行について</p> <p>(2) とよたおいでんバス稲武・足助線における貨客混載事業について</p> <p>(3) 下山地域バスの路線改編について</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・JCOMM 日本モビリティマネジメント会議について・次回、会議の開催予定について <p>5 閉 会</p>
日 時	平成29年8月21日(月) 午後3時00分～午後4時30分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 山本 進一 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所) 杉本 忠久 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 桑原 良隆 (愛知県振興部交通対策課) (代理：神谷) 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課) 坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課) 柿本竜一郎 (愛知県警察足助警察署) 岩月 正光 (豊田市都市整備部) 安藤 賢治 (豊田市区長会) 二宮 京市 (豊田市高齢者クラブ連合会) 釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会) 石川 雅之 (豊田市 P T A 連絡協議会) 三浦 司之 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 古田 寛 (公益社団法人愛知県バス協会) (代理：小林) 深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) 堀田 大祐 (名古屋鉄道株式会社) 近藤 博之 (名鉄バス株式会社) (代理：田村) 横田 太 (豊栄交通株式会社) 西川雄一郎 (愛知環状鉄道株式会社) (代理：小川) 土屋 育代 (恵那市商工観光部観光交流課) (代理：西尾)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	1. 次第 2. 平成29年度 第2回 豊田市公共交通会議 会議資料

(要約)

議事

【協議案件】

(1) とよたおいでんバス運行10周年記念事業に関する取組について

- 事務局 【資料1】に基づき説明。
- 委員 FCバス事業について、国内初の取組であるということについてもっとPRをしてほしい。
- 事務局 FCバスが路線バスとして運行したのは豊田市が国内初であるが、東京都でも運行していた時期もあったため、内容について確認してから対外的なPRについて検討する。
- 委員 運行10周年ということ、この会議に出て初めて知った。今は夏休み期間で、イオン豊田店も9月にオープンを抑えている。また、若い母親世代も新たなターゲットにして、講座等の場を活用しながら早めにPRをお願いしたい。
- 事務局 イオン豊田店のオープンに際して、中心市街地玄関口バスの利用につながるよう、イオンと連携をはかってPRしていきたい。
- 委員 中心市街地に若い世代が住んでいることも捉えながら、新たな商業施設にバスで行ってもらえるような提案を是非お願いしたい。
- 委員 通勤族で自家用車を保有していないお母さんたちは、歩くか自転車で駅周辺に集まることが多い。中には、交通手段がないことから孤立感を覚えて、豊田市外への転居を検討しているという声も聞く。この機会を捉えて、バス移動の手段があることについて是非PRしてほしい。
- 事務局 転入された方、若い世代の方々にしっかりPRしていきたい。このあとの議題に、小

中学生を対象とした無料乗車期間の設定について協議していただくが、幅広い世代の方に使っていただいていると感じているため、それぞれの年代に合わせた PR をしていきたい。

①無料乗車期間の設定

- 事務局 【資料1-1】に基づき説明。
- 委員 利用者数の把握は具体的にどのように行うのか教えてほしい。
- 事務局 運行事業者と調整中だが、バス降車時の人数をカウントして利用者数を把握していく予定である。
- 委員 乗務員の負担にならない方法、また、安全に運行できる形で利用者数の把握方法について検討してほしい。
- 事務局 カウント方法は運行事業者の意見を十分にお聞きし、無理のない方法で進めたいと思っている。
- 委員 どこで乗降しても良いという内容で記載してあるため、対応が広範囲に及ぶことから乗務員の負担が大きいように感じる。また、正規の運賃を支払ってしまった際の対応も決めておくと思う。運賃についてはしっかりしておく必要がある。最後に、運行経費というのはどのように算定しているものなのか。
- 事務局 利用者の把握含め、トラブルの想定もしながら、運行事業者と詳細を詰めていく。初めてのケースであるため、検証も含めて進めていきたい。また、今回無料とした部分を運賃収受していた場合にはいくらになったのかという金額についても、しっかり把握していきたい。運行経費については、バス事業者の選定時に決まっている金額である。

<協議結果：全員承認>

②最終便のダイヤ設定

- 事務局 【資料1-2】に基づき説明。
- 委員 名鉄バス自主路線に乗ると、車内にチラシが何枚も綴じてあり、持って帰ることができるようになっている。おいでんバスにおいても検討してほしい。
- 事務局 参考にさせていただく。
- 委員 映画館の上映スケジュールが早くに分かると、バスのダイヤも参考にしやすい。
- 事務局 上映スケジュールは直前にならないと分からないと思うが、今回の最終便ダイヤは、21時頃に終わる映画であればご利用いただけると考えて設定したものである。イオンシネマとも連携して、最終便ダイヤについて PR していく予定である。

<協議結果：全員承認>

(2) 旭地域バスの継続運行について

- 事務局 【資料2】に基づき説明。

旭地域バスは、白ナンバーと言われる家用自動車を用いて有償で運送しており、この場合、2年もしくは3年ごとに更新の登録が必要となるが、そのためには公共交通会議で協議を調える必要がある。今回は、その登録の有効期間が切れる10月以降についても引き続き運行ができるよう、更新の登録をするために、この場で協議案件としてはからせていただくものである。

また、今から説明する内容は、前回6月の公共交通会議でも協議案件として説明した「旭地域バスの継続運行について」である。改めて協議の場を設けていただいた理由は、旭地域バスが乗り入れをしている恵那市においても、引き続き運行が必要であることを承認していただくためであり、今回、恵那市役所観光交流課の西尾様にもご出席をいただいている。

本来であれば、こちらから恵那市公共交通会議の場に伺い、更新について協議いただくところだが、その協議ができていなかったため、恵那市の職員の方にご足労いただき、豊田市公共交通会議の中で協議させていただくこととなった。

前回の会議で、委員の皆様には10月以降の運行継続についてご承認をいただいているため、今回は旭地域バスが恵那市に乗入れていることについて、説明をさせていただきます。

- 委員 (中部運輸局愛知運輸支局補足) バス停やダイヤに変更があるものではないが、更新の都度、関係市町村においても協議をしていただくものである。
- 委員 (恵那市補足) 恵那市の串原地域は恵那の自主運行路線として運行しており、旭地域バスと接続している。豊田市との交流も活発な地域であるため、引き続きの運行をありがたく思っている。

<協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) K I T A R A オープンイベント等に伴う迂回運行について

- 事務局 【報告1】に基づき説明。
- 委員 シネマフェスティバルについて、イベントと迂回運行日が25, 26日ということか。
- 事務局 イベントは23~26日の4日間で、停車場線をフルモールイベント会場にすることで迂回運行が必要になるのは25, 26日の2日間である。
- 委員 迂回に伴う遅延が発生すると思われるため、バス停等での告知をお願いしたい。
- 事務局 しっかり周知させていただく。

(2) とよたおいでんバス稲武・足助線における貨客混載事業について

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
- 委員 (豊栄交通補足) 8月に入り、実証実験が始まったが、実際の運行に関わるトラブル等もなく順調に進んでいる。今後の新たな取組につながるよう、安全な運行を大前提に、この事業を成功につなげていきたい。
- 委員 公共交通という立場から、1社の混載で良いのかどうか、複数の宅配業者から要望があった場合はどうするのか。また、今は片道みの輸送だが、稲武地区から足助地区へ宅配することについても検討してほしい。最後に、クール宅急便だとバスに乗せられず、結局ヤマト運輸が宅配することになってしまうのではないか。
- 事務局 今回ヤマト運輸から提案があり、実証実験を行う運びとなったが、今後、事業者や宅配物の種類に限定されずに、偏りのないよう幅広く検討していきたい。また、稲武地区から足助地区への輸送については、ヤマト運輸側で対応が可能で、おいでんバスが運ぶ必要が無いと聞いている。最後に、クール宅急便については保冷用バッグに入れて宅配をしている。現状は量が多くないため対応できているが、バス運行の状況と調整をして展開を検討していきたい。

(3) 下山地域バスの路線改編について

- 事務局 【報告3】に基づき説明。
意見等なし。

その他

- ・ JCOMM 日本モビリティマネジメント会議について
- ・ 乗合バス事業者に対する集中監査実施結果について ○中部運輸局愛知運輸支局
- ・ 愛知環状鉄道へのICカード乗車券「TOICA」導入について ○愛知環状鉄道
- ・ 次回、会議の開催予定について (平成29年12月の開催を予定。)

以上